

# いきものみつけ News. Vol.5

発行：いきものみつけファーム滋賀推進協議会 編集：事務局 竜王 住所：甲賀市土山町黒川  
電話：090-7966-2262 FAX：0748-68-0598 E-mail: ryuoh-mtm@maia.eone.ne.jp 平成26年8月24日発行

## 母なる水かめ琵琶湖にて

## プランクトン採取と観察

二日目、十三日は琵琶湖博物館に場所を変えました。十二日に開催した甲賀・土山を流れる野洲川は琵琶湖に流れつきます。琵琶湖にはどんな生き物がいるんでしょう。

楠岡先生のご指導のもと、グループに分かれ、琵琶湖に専用ネットとバケツを持ってプランクトン採取。

プランクトンとはどのような生物を意味するのか確認しました。プランクトンは日本語で浮遊生物といい、水の中を漂う遊泳能力のない生物全般を指すそうです。なんと、体重が200gあったとしても、遊泳能力のないクラゲはプランクトンというくりに含まれる。

専用ネットの扱いについて水草に引っかからないように採取コックはガスコックとは逆であることの説明も受けました。



自分で採取した琵琶湖の水からプランクトンを観察



がいることにびっくり、水の小さな世界に大興奮の様子でした。

プランクトンを観察してから、琵琶湖を愛する環境生態学専門の三田村先生より、「私たちが食べている魚は、小さい魚を食べ、その魚はもっと小さい魚を食べ、その小さい魚はプランクトンを食べている。さまざまなプランクトンはとっても大切なんです。そのプランクトンに私たちは命を支えられている、そのプランクトンが生きられるためには？川や琵琶湖、水を大切に

### ＜学習のまとめ＞

- 1) 川と湖には、たくさんの生きものが生活していることが解りました。
- 2) 生きものの命を大切にしたいですね。
- 3) 人の命は、彼らの命によって、支えられています。
- 4) 川と湖を汚さないこと！
- 5) 水と物質と命の循環を考えたい！

しなければならぬですね」と生態系の話、私たち人間が行う暮らしについての振り返り、3カ（リデュース・リユース・リサイクル）のお話がありました。琵琶湖・水をきれいにするために、上流に住む一見されいに見えている川への関心、水への関心、心がけが大切であることを子どもたちと一緒に大人たちが学ぶ機会になりました。



私たちの生活を点検しよう！			
目標	番号	環境行動項目	チェック
水環境を守ろう	1	食器の汚れを落としてから洗う	
	2	洗剤類を使いすぎない	
	3	残り汁や、米のとぎ汁を排水口に流さない	
	4	できるだけまとめて洗濯する	
	5	微細目のストレーナや三角コーナーを使用する	
	6	シャンプーは使いすぎない	
	7	歯磨き・シャンプー中の水を止める	
	8	廃食油を地域の回収に出す	
	9	風呂の残り湯を洗濯に使う	



里山探検  
(6歳 草津市)

いきものを見つけるのが楽しかった(10歳 彦根市)

問題を解くこと  
(2年生 大津市)

ドジョウ、魚とり  
(4歳 多賀町)

田んぼでカニや  
タイコウチを見つけた  
こと (8歳)

お昼ご飯(17歳 湖南  
市)(17歳 日野町)

田んぼでカニやドジョウを  
観察したこと (3歳)

全部楽しかった。ウ  
ォークラリーで虫を探  
したこと  
(8歳 野州市)

虫とり  
(12歳 近江八幡市)

# 寺子屋2014夏 ダイジェスト

## 何が一番楽しかったですか？

琵琶湖でプランクトンを取  
ったこと(9歳 甲賀市)

神社でのいきものみ  
け(11歳 甲賀市)

魚とり・いきもの  
観察(11歳 栗東市)

顕微鏡でプランクトンを見た  
こと(8歳 甲賀市)

全部  
(7歳 栗東市)

クイズ  
(7歳 京都市)

人としゃべること  
(11歳 大津市)

田んぼのいきもの探し  
(13歳 多賀町)

自分と同じくらいのサ  
ンショウオを見たこと  
(8歳 甲賀市)

ウォークラリー(10歳  
甲賀市)

